

重度障害者・生涯学習ネットワーク (所在地：神奈川県)

事業名

社会教育施設を活用した学びの場の拡充「重度医療的ケア者対象の訪問型生涯学習支援を通して」

事業の趣旨・目的

- ・在宅生活を余儀なくされている重度医療的ケア者の学校卒業後の学びや、社会とのつながりを継続する「重度医療的ケア者対象の訪問型生涯学習支援」(訪問カレッジ)の学びの充実に向けて、社会教育施設との連携及び活用方法を研究し、学習プログラムを開発する。
- ・研究を通じて、重度医療的ケア者の存在、生涯学習ニーズに対する理解・啓発を行い、訪問型生涯学習の制度化を目指す。

事業実施体制・連携先

1. 重度障害者・生涯学習ネットワーク：20団体(大学、NPO、一般社団等)
2. 連携協議会：自治体、社会福祉協議会、教育機関、社会教育施設、当事者等

主な対象

重症心身障害者・医療的ケア者

活動分野

学習/普及啓発

事業内容

「重度医療的ケア者対象の訪問型生涯学習支援」(訪問カレッジ)の実践
 学習支援員⇒(訪問による学びの提供)⇒カレッジ生(自宅、施設、病院、生活介護事業所)

評価

実践・協力

参加

1. 社会教育施設を活用したプログラム開発
 (①美術館・博物館②図書館③公民館④スポーツ施設)

成果

4. 実践研究の成果普及
 ・学会発表
 ・訪問カレッジ学びの爽り文化祭<第5回>

3. 人材育成
 ・ICT支援講座
 ・生活介護施設等職員研修
 ・ボランティア講座

2. 連携協議会
- ・自治体(神奈川県)
 - ・社会福祉協議会
 - ・教育機関
 - ・パラスポーツ
 - ・社会教育施設
 - ・当事者 等

成果

成果

事業終了後の目指す方向性

- ①社会教育施設の学びに触れる経験をしたカレッジ生が増える。
- ②社会教育施設と連携した学びの学習プログラムを開発。
- ③ICT支援等を活用した学習支援員が増える。
- ④連携する社会教育施設が増える。
- ⑤障害者の学びを社会教育施設関係者と共に考える機会が増える。
- ⑥全国に訪問カレッジに取り組む団体が増える。

その他(昨年度の成果)



生きることは、学ぶこと。
 学ぶことは、生きる喜び。
 ～訪問型生涯学習支援の創設を願って～
 重度障害者・生涯学習ネットワーク
大規模障害者・重度障害者・知的障害者・発達障害者・精神障害者・身体障害者・知的障害者・発達障害者・精神障害者・身体障害者
 第3回 総会(カレッジ学びの爽り) 文化祭
 ～重度障害者の社会参加と生涯学習の場の拡充を目指す文化祭～
 2024年10月26～27日 新百合ヶ丘ワンテンホール

重度障害者・生涯学習ネットワーク紹介ビデオ

